



平成 24 年 月 日

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人 青少年福祉センター おうぎ寮

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

職員育成を行い寮生の就労・就学支援を強化する事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

おうぎ寮は寮生が気持ちよく仕事や学校に通える様、寮生の職場や学校との関係調整を目指し、訪問を積極的に行ってきた。

しかし、男性指導員2名、女性指導員1名という限られた職員の中で宿直明けでの超過勤務で行くことや寮生との日程調整が難しいことも幾度とあった。

そこで非常勤の女性指導員を雇用することで、寮生の関係機関への訪問をより積極的に行っていきたい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

7年目を迎えるおうぎ寮は数年先を見据えて新たな職員の人材を育成し、入所児童の支援をより強化してく。主に就労先や就学先との関係を密にすることで、寮生がよりスムーズに社会に適応できるよう援助する。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

非常勤職員を主に日曜日の宿直勤務とし、平日に施設長もしくは常勤職員を日勤として1名設ける勤務体制にした。その甲斐あって、寮生の職場訪問・学校訪問だけでなく、卒寮生へのアフターケアも昨年度以上に動きがとれた。今まで連絡が途絶えていた卒寮生とも再び会う機会が設けられたりと継続したアフターケアの兆しが見受けられた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

小規模性の自立援助ホームでは、心理ケアを要する児童や対人関係に課題のある児童の入所相談が多くある。その為、職員だけでなく他機関に渡る大人からの支援が要される。今年度、非常勤職員の配置により在寮生関係者との連携だけでなく、継続した直接的支援を要する卒寮生の関係者ともカンファレンス等の連携プレーができた。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし